

第3部 開発事業実施時における環境配慮

第4章 行政区別環境配慮の方向

本市は7区（中区・東区・西区・南区・北区・浜北区・天竜区）の行政区に分かれており、自然環境や土地利用などの状況は区によって大きく異なります。そのため、開発事業を実施する際はそれぞれの区の特徴を踏まえた環境配慮を行っていくことが必要です。

そこで、本章では、各区の地域特性とそれに基づく環境配慮の方向を示します。環境配慮の方向として取り上げる環境要素は、地域特性に応じた環境配慮が見込まれる「生物多様性」「快適環境」とします。なお、開発事業地における環境法令等指定状況についても別途確認し、法令等による開発に対する制約条件を遵守してください。

実際に開発事業を実施する際には、開発事業地の状況に応じたきめ細かな環境配慮を行うことが求められます。

1 中区

(1) 区の概要

中区は市の中心部に位置し、市民の約30%が住む人口最大の区です。また、JR浜松駅を中心とする地区は都心としての役割を担っています。

区域の東側の平地には市街地が広がり、その中に社寺林や公園などの緑が点在しています。また、市街地を北から南へ縫うように馬込川が流れています。一方、区域の西側は標高50m程度の三方原台地で、その周辺には農地や里山、斜面林などが残存しています。また、新川（都田川水系。以下、中区において同じ。）や段子川などの河川が佐鳴湖に流れ込んでいます。

土地利用の状況は、大部分が市街地ですが、新川及び花川流域の一部は農村地域となっています。

(2) 地域特性と環境配慮事項

①生物多様性

- 都市化が進み全体的に植生は少ないものの、市街地の中には社寺林などに常緑広葉樹林が点在して分布しているため、これらの樹林を保全します。
- 市街地に整備されている緑豊かな公園緑地や街路樹などは、緑の回廊としての役割を果たしており、今後も緑化による緑の新たな創出やネットワーク化を図ります。
- 佐鳴湖北側及び新川、段子川周辺には常緑広葉樹を中心とした斜面林が帯状に分布し、特に富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区には豊かな自然が残っているため、これらの自然環境を保全します。
- 新川や段子川、馬込川、四ツ池公園などで多くの貴重種が確認されているため、貴重種への影響を回避・低減します。

②快適環境

- 馬込川、新川、権現谷川、段子川などの河川、三方原台地と平野部の境に存在する斜面緑地、市街地周辺の農地や里山は、中区を特徴づける景観要素となっているため、これらの自然景観を保全します。
- 名勝に指定されている佐鳴湖の景観を保全します。
- 市の歴史・文化のシンボルである浜松城公園のほか、佐鳴湖公園、花川運動公園、浜松八幡

宮などの公園緑地や社寺林の自然環境及び景観を保全します。

- 「新・浜松の自然 100 選」に選ばれている奥山線跡の遊歩道、四ツ池公園と周辺の緑、椎ノ木谷の里山、浜松城公園（「浜松城公園の四季」の緑）などの環境資源を保全します。
- 天然記念物(資料編「1 行政区別環境資源一覧（中区）」参照)、保存樹・保存樹林（同左）を保護するなど、地域の景観形成や歴史・文化の継承に役立っている自然環境及び景観を保全します。

2 東区

(1) 区の概要

東区は東名高速道路の浜松インターチェンジや国道1号、国道152号などの道路交通網のほか、JR東海道本線や遠州鉄道が通っています。

区域の東を南北に流れる天竜川のほか、馬込川や安間川など本市の主要な河川が流れており、豊かな水辺環境があります。

土地利用の状況は、市街地の中に水田や畑地などの農村地域が比較的まとまって分布しています。

(2) 地域特性と環境配慮事項

①生物多様性

- 水田がまとまった面積で分布しているため、これらが持つ生物多様性の保全などの環境面の多面的機能を維持します。
- 天竜川には河畔林や河川敷砂礫地植生、自然裸地などが分布しており、豊かな自然環境が残っているため、これらの河川環境を保全します。
- 天竜川河口から秋葉ダムまでの区間は、天竜川を代表するアユが遡上し分布しているため、アユの遡上環境を保全するように配慮します。
- 天竜川、安間川、馬込川などで貴重な動植物が確認されているため、貴重種への影響を回避・低減します。

②快適環境

- 天竜川、安間川、芳川、馬込川などの河川、市街地及びその周辺の農地や里山、有玉・半田地区に残る三方原台地と平野部の境に存在する斜面緑地は区を特徴づける景観要素となっているため、これらの自然景観を保全します。
- 安間川公園、中田公園などの公園緑地の自然環境及び景観を保全します。
- 「新・浜松の自然 100 選」に選ばれている安間川などの環境資源を保全します。
- 天然記念物(資料編「1 行政区別環境資源一覧（東区）」参照)、保存樹・保存樹林（同左）を保護するなど、地域の景観形成や歴史・文化の継承に役立っている自然環境及び景観を保全します。

3 西区

(1) 区の概要

西区は東名高速道路の浜松西インターチェンジや国道1号などの主要交通網のほか、JR東海道本線が南部を通り、近年では志都呂・堀出前地区を中心に商業集積が著しく、都市化も進展しています。浜名湖や遠州灘、佐鳴湖などの本市を代表する水辺があるほか、館山寺温泉や弁天島温泉などの景勝地に恵まれ、館山寺総合公園などのレクリエーション施設も充実しています。

土地利用の状況は、浜名湖南部の沿岸は市街地が多く、内陸部は農村地域及び森林地域となっています。タマネギやガーベラ、セルリーなどの農産物は全国有数の生産地となっているほか、浜名湖のウナギ、舞阪漁港で水揚げされるシラス、トラフグなどの水産業が盛んな地域です。

(2) 地域特性と環境配慮事項

①生物多様性

- 三方原台地上は畑地、平野部は水田がまとまって分布しているため、これらが持つ生物多様性の保全などの環境面の多面的機能を維持します。
- 平野部と台地の境にある斜面には常緑広葉樹を中心とした斜面林や竹林が分布しており、多くの動植物が生息・生育できる環境が残っているため、これらの自然環境を保全します。
- 遠州灘海岸には大規模な砂丘や砂防林のマツ植林が分布するなど、特徴的な生態系が見られるため、これらの砂丘やマツ植林などの自然環境を保全します。
- 浜松海岸のアカウミガメ及びその産卵地は、市の天然記念物に指定されているため、砂浜環境を保全します。
- 大草山に生育しているまとまった面積のアカマツ林を保全する。
- 村櫛の干拓地周辺は農地と水路が多く、ヨシゴイ、サギ類、シギ・チドリ類、カモ類等の鳥類の重要な生息場所となっているため、これらの干拓地を保全します。
- 錨瀬干潟の浅水域ではアマモ場が形成され、魚類や甲殻類など多様な動物の生息地となっているほか、干潟はシギ・チドリ類、カモメ類等の水鳥の重要な生息地になっているため、これらの環境を保全します。
- 浜名湖の干潟、東神田川、和地大谷川、新川（都田川水系。以下、西区において同じ。）周辺などでは貴重な動植物が確認されているため、貴重種への影響を回避・低減します。

②快適環境

- 浜名湖や佐鳴湖、新川、伊佐地川などの湖沼や河川、遠州灘海岸の美しい砂浜や松林、市街地周辺の農地や里山は、区を特徴づける景観要素となっているため、これらの自然景観を保全します。
- 名勝に指定されている佐鳴湖や浜名湖の景観を保全します。
- 館山寺総合公園、浜名湖ガーデンパーク、弁天島公園、雄踏総合公園などの公園緑地の自然環境及び景観を保全します。
- 「新・浜松の自然100選」に選ばれている佐鳴湖、水神社の湧水、佐鳴湖公園の緑、大草山などの環境資源を保全します。
- 天然記念物（資料編「1行政区別環境資源一覧（西区）」参照）、保存樹・保存樹林（同左）を保護するなど、地域の景観形成や歴史・文化の継承に役立っている自然環境及び景観を保全します。
- 浜名湖は潮干狩り、海水浴、魚釣りなど、佐鳴湖は野鳥をはじめとした動植物の観察スポットや桜の名所として多くの人々に利用されているため、これらの活動の場に配慮します。

4 南区

(1) 区の概要

南区は国道1号、国道150号や県道竜洋舞阪線などの道路交通網のほか、JR東海道本線が東西に延びています。

南に遠州灘を望み、天竜川や馬込川、芳川、安間川などの河川が流れるなど、豊かな水辺環境に恵まれています。特に遠州灘海岸ではアカウミガメや海浜植物の群落、天竜川及び馬込川河口では多くの野鳥などが見られるのも大きな特徴です。

土地利用の状況は、市街地と農村地域が混在し、遠州灘海岸の沿岸部は砂防林を中心とした森林地域となっています。区域の面積の約50%を農地が占めており、水稻、エシヤレット、タマネギ、サツマイモなどの産地です。

(2) 地域特性と環境配慮事項

①生物多様性

- 水田や畑地がまとまった面積で分布しているため、これらが持つ生物多様性の保全などの環境面の多面的機能を維持します。
- 遠州灘海岸には大規模な砂丘や砂防林のマツ植林、湿地が分布するなど、特徴的な生態系が見られるため、これらの自然環境を保全します。
- 浜松海岸のアカウミガメ及びその産卵地は、市の天然記念物に指定されているため、砂浜環境を保全します。
- 天竜川や馬込川の河口には、河川敷砂礫地植生や河畔林、ヨシなど河川環境に特有の植生が分布しており、県内でも有数の野鳥飛来地となっているため、野鳥をはじめとした動植物や河川環境を保全します。
- 天竜川河口から秋葉ダムまでの区間は、天竜川を代表するアユが遡上し分布しているため、アユの遡上環境を保全するように配慮します。
- 天竜川河口、馬込川河口、芳川などで多くの貴重種が確認されているため、貴重種への影響を回避・低減します。

②快適環境

- 天竜川、馬込川などの河川や中田島砂丘をはじめとする遠州灘海岸の美しい海岸の砂浜及び松林は、区を特徴づける景観要素となっているため、これらの自然景観を保全します。
- 遠州灘海浜公園、可美公園、飯田公園、芳川公園、馬込川公園などの公園緑地の自然環境及び景観を保全します。
- 「新・浜松の自然100選」に選ばれている遠州灘、遠州灘海岸のアカウミガメ、中田島砂丘の風紋などの環境資源を保全します。
- 自然観察ポイントである天竜川河口、馬込川河口などの自然環境への影響を回避・低減し、人と自然との触れ合いの活動の場として保全します。
- 天然記念物(資料編「1行政区別環境資源一覧(南区)」参照)、保存樹・保存樹林(同左)を保護するなど、地域の景観形成や歴史・文化の継承に役立っている自然環境及び景観を保全します。

5 北区

(1) 区の概要

北区は都田テクノポリス地域を中心に、高度な工業技術産業の集積が進んでいる地域です。東名高速道路に加えて新東名高速道路が開通し、さらには三遠南信自動車道の整備が進んでいます。

三方原台地から浜名湖に至る平野部や丘陵地、中山間地域など、奥浜名湖や都田川といった本市を代表する自然環境を有しています。また、蛇紋岩地域や石灰岩地域をはじめ、特徴的な地質や植生も分布していることから、多くの貴重種が生息・生育しているのも大きな特徴です。区内には都田川ダムがあり、市内外への生活用水・農業用水の供給源として重要な役割を担っています。

土地利用の状況は、大部分が森林地域と農村地域であり、農地ではミカンやネーブル、ピオーネなどの果樹やジャガイモ、花木などの生産が盛んです。

(2) 地域特性と環境配慮事項

①生物多様性

- 浜名湖や都田川、井伊谷川などの河川沿いには水田、台地の上には畑地、台地斜面には果樹園がまとまって分布しているため、これらが持つ生物多様性の保全などの環境面の多面的機能を維持します。
- 大部分を占める丘陵地にはスギ・ヒノキ植林、斜面には所々に常緑広葉樹林や落葉広葉樹林が分布しているため、樹林の保全と適正な維持管理を行います。
- 都田川、井伊谷川と河川沿いの水田地域、都田川河口などには貴重なトンボ類や魚類が生息しているため、これらの水辺環境を保全します。
- 雨生山の蛇紋岩地域、竜ヶ石山の石灰岩地域、枯山の里山林などの特徴的な地形・地質で局所的に生息・生育する動植物が確認されているため、これらの自然環境を保全します。
- 雨生山一帯、都田川、井伊谷川、霧山、枯山の里山林、三方原防風林周辺など、区内の多くの場所で貴重な動植物が確認されているため、貴重種への影響を回避・低減します。
- 奥浜名湖及びその周辺の樹林は、野鳥の主要な越冬地となっているため、野鳥の生息環境を保全します。

②快適環境

- 浜名湖や都田川、都田川沿いに存在する斜面林、市街地周辺の農地や里山、北部の森林は、区を特徴づける景観要素となっているため、これらの自然景観を保全します。
- 名勝に指定されている浜名湖の景観を保全します。
- 三ヶ日高山公園、細江総合グラウンド、引佐総合公園、都田総合公園、フルーツパークなどの公園緑地や公共施設の自然環境及び景観を保全します。
- 「新・浜松の自然 100 選」に選ばれている奥浜名湖、いなさ湖、猪鼻湖と瀬戸、都田川、浜名湖、滝沢展望台からの風景、鷲沢風穴などの環境資源を保全します。
- 自然観察ポイントである奥山高原、奥浜名湖湖岸、細江公園付近、渋川つつじ公園付近、竜ヶ岩洞などの自然環境への影響を回避・低減し、人と自然との触れ合いの活動の場として保全します。
- 天然記念物(資料編「1 行政区別環境資源一覧(北区)」参照)、保存樹・保存樹林(同左)を保護するなど、地域の景観形成や歴史・文化の継承に役立っている自然環境及び景観を保全します。

6 浜北区

(1) 区の概要

浜北区は南北を国道 152 号及び遠州鉄道が縦断し、東西を国道 362 号及び天竜浜名湖鉄道が横断しています。輸送用機器関連などの製造業をはじめ、緑花木センターを中心とした植木産業や次郎柿、梨などの生産が盛んな地域です。

東に天竜川が流れ、西に三方原台地を望み、北に赤石連峰とみどり豊かな自然に囲まれています。豊かな里山風景や美しい田園風景が残されているほか、県立森林公園や万葉の森公園、美蘭中央公園などの公園施設が充実し、人と自然との触れ合いの活動の場として利用されています。

土地利用の状況は、平野部が市街地及び農村地域であり、北西部の丘陵地域が森林地域となっています。

(2) 地域特性と環境配慮事項

①生物多様性

- 区の東には畑地、区の中央から西には水田や果樹園がまとまって分布しているため、これらが持つ生物多様性の保全などの環境面の多面的機能を維持します。
- 区の北西部の丘陵地にはスギ・ヒノキ植林や針葉樹林が分布しているため、樹林の保全と適正な維持管理を行います。
- 県立森林公園周辺に生育しているまとまった面積のアカマツ林を保全します。
- 天竜川には、河畔林や河川敷砂礫地植生、自然裸地などが分布しており、豊かな自然環境が残っているため、これらの河川環境を保全します。
- 天竜川河口から秋葉ダムまでの区間は、天竜川を代表するアユが遡上し分布しているため、アユの遡上環境を保全するように配慮します。
- 県立森林公園周辺、三方原台地の斜面林、天竜川などで貴重な動植物が確認されているため、貴重種への影響を回避・低減します。

②快適環境

- 天竜川、馬込川、御陣屋川などの河川、三方原台地と平野部の境に存在する斜面緑地、市街地及びその周辺の農地や里山は、区を特徴づける景観要素となっているため、これらの自然景観を保全します。
- 県立森林公園、美蘭中央公園、万葉の森公園、染地台野鳥公園などの公園緑地の自然環境及び景観を保全します。
- 「新・浜松の自然 100 選」に選ばれている御陣屋川とミクリ群落、天竜川の豊かな自然、県立森林公園のアカマツ林や湿地群などの環境資源を保全します。
- 自然観察ポイントである県立森林公園、浜北大橋付近などの自然環境への影響を回避・低減し、人と自然との触れ合いの活動の場として保全します。
- 天然記念物(資料編「1 行政区別環境資源一覧(浜北区)」参照)、保存樹・保存樹林(同左)を保護するなど、地域の景観形成や歴史・文化の継承に役立っている自然環境及び景観を保全します。

7 天竜区

(1) 区の概要

天竜区は面積が 944km²と市域の約 63%を占めており、その約 91%が森林となっています。区内には、天竜川の赤石山脈南端の急流を利用した佐久間ダムや水窪ダム、秋葉ダム、船明ダムがあり、市内外への生活用水・工業用水・農業用水の供給源として重要な役割を担っています。

天竜川支流の大千瀬川、水窪川、気田川、阿多古川などは多くの渓谷美を描き、河川沿いにはスギ、ヒノキの人工林が、日本三大美林の一つである天竜美林を形成しています。秋葉山、光明山、白倉山、山住山、竜頭山は、その眺望の素晴らしさや旧跡もあることなどから北遠五名山といわれ、四季折々の自然を満喫する多くのハイカーが訪れています。

土地利用の状況は、大部分が森林地域であり、農村地域及び市街地はごくわずかです。

(2) 地域特性と環境配慮事項

①生物多様性

- 区域の大部分が森林となっているため、これらが持つ生物多様性の保全などの環境面の多面的機能を維持します。
- 大部分を占める山間部のスギ・ヒノキ植林は、樹木の保全と適正な維持管理を行います。
- 亜高山地域や白倉原生林などは、冷温帯、亜高山帯、高山帯の自然度の高い植生や動物が分布しているため、これらの自然環境を保全します。
- 龍山や浦川、竜頭山・観音山周辺の樹木などでは局所的に生育・生息する動植物が確認されているため、これらの自然環境を保全します。
- 天竜川河口から秋葉ダムまでの区間は、天竜川を代表するアユが遡上し分布しているため、アユの遡上環境を保全するように配慮します。
- 亜高山地域や竜頭山、天竜川など、区内の多くの場所で貴重な動植物が確認されているため、貴重種への影響を回避・低減します。

②快適環境

- 天竜川、気田川などの河川、区の大半を占める森林などは、区を特徴づける景観要素となっているため、これらの河川や森林、山頂や稜線のスカイライン、斜面や渓谷などの自然景観を保全します。
- 名勝に指定されている新宮池、樽山の滝、竜頭山などの景観を保全します。
- 「新・浜松の自然 100 選」に選ばれている阿多古川の清流、気田川の清流、大千瀬川の清流、佐久間ダム湖と周辺の緑、水窪ダム湖と周辺の緑、白倉峡、明神峡、水窪カタクリの里、野鳥の森（水窪）などの環境資源を保全します。
- 天然記念物（資料編「1 行政区別環境資源一覧（天竜区）」参照）を保護するなど、地域の歴史と一体となった緑として保全するよう配慮します。
- 自然豊かな渓谷を形成する気田川、阿多古川などの河川とその沿川を水辺の散策空間として保全・活用するよう配慮します。
- ハイキングや紅葉狩りも楽しめる緑の回廊として市民に親しまれているスーパー林道天竜線、遊歩道が整備された天竜の森など、人と自然との触れ合いの活動の場を保全・活用するよう配慮します。
- 天竜川上流やダムの湖面などでは、カヌーや漕艇などの水面レジャーで利用されており、これらの活動に配慮します。